



加盟店のご案内



株式会社 せ ら

〒451-0022

愛知県名古屋市西区貝田町二丁目37番地1

TEL 052-532-1200

FAX 052-532-1270

URL: <http://www.sera.jp>

E-mail: info@sera.jp

新規ビジネスチャンスMIST工法のご案内

貴社におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

現在、建築業界において建物を壊す白蟻の防蟻工事は建築基準に組み込まれていることは御存知の通りです。

しかし、建物の中に住む人の生命をも犯す「カビ」については、その重要性を最も必要とされているにもかかわらず、行政も建築業界も手の施しようのないのが実情であります。

そんな中、当社は建物・施設の外壁及び室内を汚染するカビの退治に永年着手して参りました。誰にでも施工できる単一工法を確立、**MIST工法**を全国展開いたしております。

環境問題と人の健康を重視した**MIST工法**は短い工期で長期間防カビ効果を持続させることに高い評価をいただいております。益々、高齢化が進む21世紀の我が国において一層需要は高まるものと確信いたしております。

MIST工法の活躍の場は建設省、病院、学校等の受注を始め、マンション、一般住宅、食品工場、レストラン、スーパー、保冷車、コンクリート工場、室内及び外壁等々、除カビ・防カビ工事と無限です。

「高温多湿な日本にこそ求められる抜本的なMIST工法」

カビによる黒ずみを“汚れ”として処理されている清掃業界、並びにビル管理業界また事業拡大における新規ビジネスをお求めの各位様、この機会に**MIST事業こそ21世紀の環境改善事業と捉え、ビジネスチャンスを最大限にご活用いただきたく各地域でのビジネスパートナーを募っております。是非ともご検討いただきたくご案内申し上げます。**

敬具

株式会社 せら
代表取締役 世良 秀雄

朝日新聞の生活欄に

こんな声がありました

カビない毎日を (1) 住まいで増殖 健康脅かす

高温多湿の日本はカビの暮らしやすい環境だ。

千葉大学真菌医学研究センターの矢口貴志准教授は

「1立方メートルの空気中に1千個のカビの胞子が飛んでいて、1人が1日に1万個の胞子を吸い込んでいるといわれます」。

屋内で胞子の量が増えたときが問題になる。

「免疫力の落ちた人にぜんそくがおきたり、カビが増えるとダニも増え、アレルギーの原因になったり。特定のカビで、夏の間だけ風邪のような症状が続く人など、影響がでています」

カビとは真菌という微生物だ。

生きるためには温度、水分、栄養という条件が必要になる。

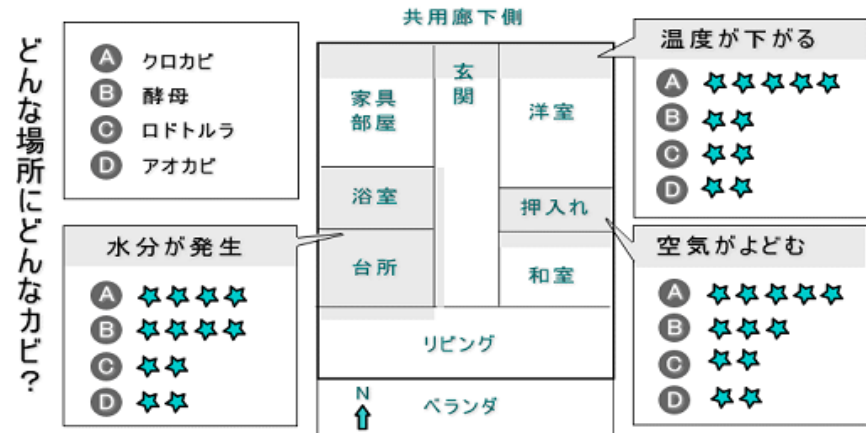
家の中では風に飛ばされない足場ができると発芽し、菌糸をのばして新たな胞子を作り出す。

「高気密な現代の住空間はカビが増殖するのにぴったり。そこで暮らす私たちにプラスはひとつもない」と矢口さん。

さあ、どうしますか。

カビの好きな条件は？

- 1 20～30度のポカポカ温度
- 2 じっとり80%以上の湿度
- 3 よどんだ空気と栄養分



かびない毎日を (2) 換気で湿気追い出して

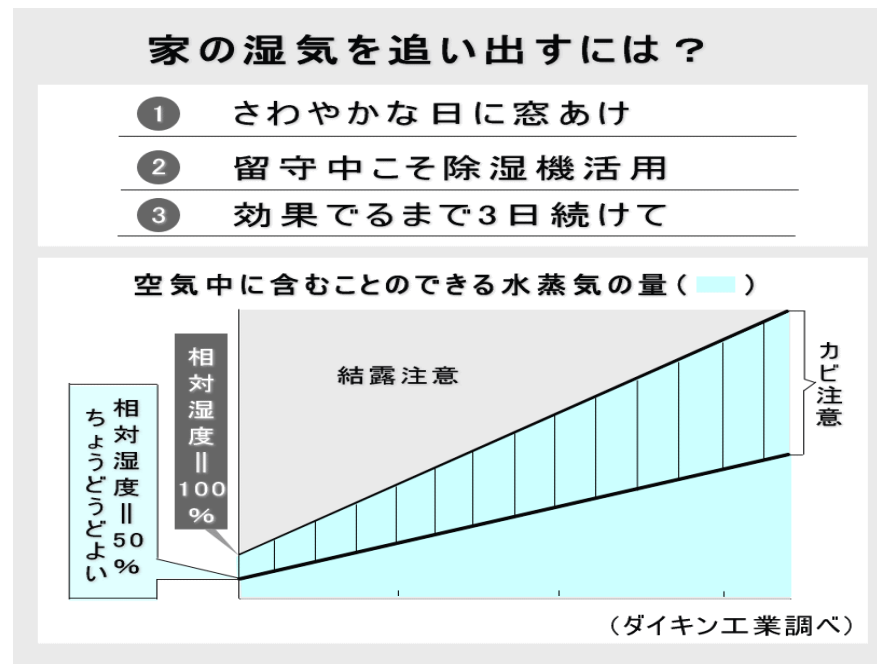
カビと切り離せないのが湿気。

「調査先のおたくでは、まず新聞を触らせてもらう。しなっとしたら、湿度に問題あり。湿気はにおいを運ぶので鼻でもピンときます」。
ダイキン工業（本社・大阪市）で家庭用空調機器を開発する香川早苗さん

マンションの間取り図をみながら、室温と水蒸気のことを説明してくれた。

「びっしり生えたカビを前に何が悪かったのかと気落ちしている方も多。車の運転のように、それぞれの家と湿気に扱い方がああるのです」

リビングは快適なのに、北側の部屋は壁がじっとり。これは、水蒸気が空間の中で均一に広がろうとするのに対し、空気の方は、温度が低くなるほど含むことのできる水蒸気量が減るからだ（相対湿度＝図参照）。



かびない毎日を (3) 入浴後、こまめな手入れで予防

生活の中で作りだされる湿気はカビの大きな原因だ。

とくに浴室は暖かく、水分があって、せっけんや人のアカなどカビの食べ物がたっぷりある。

ユニットバスの場合は窓もなく保温性は高い。カビは仕方ないとあきらめていないだろうか。

INAX 浴室事業部の山形美紀さんは

「毎日お風呂に入る週間のある人が多い。日本の浴室はそれだけ濡れた状態が続き、カビを引き寄せやすい。改良は欠かせません」。水が溜まりにくいように浅く溝をつけた浴室の床や、反対にでっぱりをなくした洗面台など、早く乾燥させてカビ予防に役立つデザインだ。

最近ではタイルの目地剤や樹脂のシャワーホースなど、抗菌効果のある物質を練りこんで「防カビ」をうたう製品も増えた。

ただ、せっけんカスが防カビホースの表面を覆うくらい付着すると、そこから生えるカビまでは防げない。

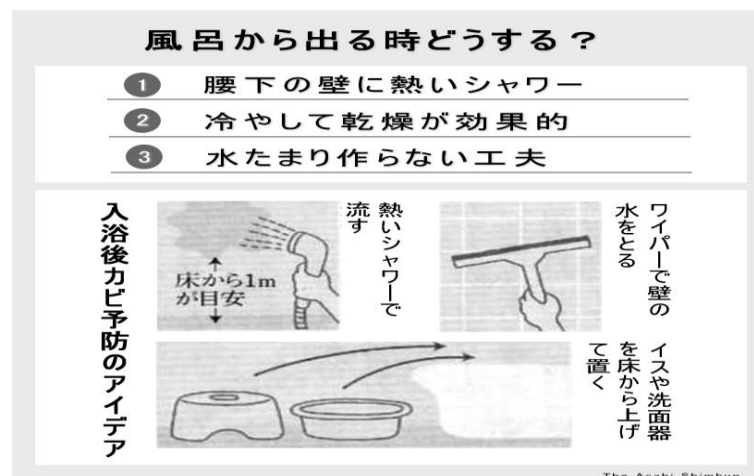
洗面器やイスは床からあげておこう。

浴室内の温度を急激に下げること、水のたまる場所を作らないのもカビ予防に効果的だ。

換気扇の音や電気代が気になってスイッチをすぐ切っていないだろうか。朝まで回すのがベターという。

増える洗濯物の部屋干し派も、除湿は衣類を乾かすだけでなく、住まいに湿気を与えないためのもだと意識した方がいい。

東京ガス都市生活研究所の実験では、5キログラムの洗濯物から3リットルの水分、大型のペットボトル2本分が放出されるという結果が出た。換気扇や浴室乾燥機、あるものは意識して活用したい。



かびない毎日を (4) 住み手の意識変革も必要

どうしてカビに悩まされるのか。

それを考えると、現代の住宅のつくりと暮らし方のミスマッチが見えてくる。

NPO 法人「日本健康住宅協会」(本部・大阪市)の安藤研治常務理事は「意識の温度差が、業界の中にもあります」という。

高気密・高断熱にはなったが、欧米式に建物全体の暖房まで進まなかった。

「空気の管理で大事なものは家の中に温度差をつくらないこと。そのための技術開発と住み手の意識改革が必要」と大澤さん。

国は、働く人のためにオフィス内の湿度は 40~70%を基準値にするが、「実態調査では半数のビルが乾き過ぎ。管理者がどこかでカビが出るのを嫌がるからです」。

「ライフスタイルという言葉はきれいだが、住み手のわがままや建物の維持管理の怠慢と言い換えられる。

カビは暮らしのマーカ―(指標)かもしれません」(長沢美津子)

カビに教わることは？

- 1 家と住み方のバランス
- 2 大切な空気の総合設計
- 3 支配できない自然の力



! 「問題には必ず原因があります」

しかし

「餅は餅屋」



すでに確立されたブランド力を生かした仕事で年収をアップ！

建物のカビ事業は、住居だけではなく施設や公共の事業の場でも求められております。また、各マスメディアを通じて一般にも周知されております。MIST工法は、多くのTV特集や雑誌・新聞に取り上げられ、そのブランド力はかなり浸透しています。MIST工法という認知された実績と商標のもと、利益率の高い分野の仕事としてその力を生かした経営は付加価値をもって活かして頂けることと言えます。

高まるニーズ！住まいのカビビジネス

住まいのカビビジネスのニーズはどんどん高まっています。

その背景には、

- ・共働き家庭の増加
- ・高气密高断熱の建物仕様
- ・空気巡回式住宅の普及
- ・ハウスダストによるアレルギーへの関心の高まり

などの【社会の変化】があります。今では市場規模は500億円規模とも言われ、さらに今後の拡大が見込まれています。『MIST工法』によるビジネスパートナーは、その【独自のノウハウ】を生かして、この市場での安定した収入を狙うことが可能です。

成長マーケットで事業拡大が可能

高単価・高収益だけでは無く成長市場である為、事業を拡大させていきたいという方にも適したビジネスです。最近では住宅だけではなく、ビジネスホテルや介護施設、商業施設などのご利用が増えています。

高气密高断熱と建物は変化をつづけるなかでカビ被害は大きな問題として表面化しています。

安心して集える建物を維持させることは私達MISTグループの使命といえます。

カビの発生、成長とその予防

適切なカビ対策のためには、カビの正しい知識と理解が必要です。

M I S T工法

モールド・インプロブメント・スペシャル・テクノロジー

室内汚染の根本原因を調査し、他の業者では不可能ともいえるカビ・藻類の根本除去・防止を行う特殊工法です。

M I S T工法のカビ防止システムとは

- ★ 従来のカビ防止システムといえば、漂白剤やカビ取り剤を吹きつけたり、ブラシでこすり落として防カビといたり、単にクロスを張り替えたり、微量の防カビ剤入り塗料を上から塗布したり、これで防カビ処理をしたことになっています。しかも、このクロスの糊や塗料そのものが、カビの格好のエサとなっている根本的な知識もありません。カビは発生原因を根本から絶ち、長時間効力をきかせるものでなければ、真のカビ防止とは成りえないのです。
- ★ M I S T工法のカビ防止システムは、壁やクロスに付着するカビを完全に死滅し、これらの材料と材料との間に、特殊防カビ剤を塗布し浸透定着させ、素材の表面に透明な防カビ層を形成させます。このことにより、化学的・物理的にカビ・細菌・酵母等を長期間にわたって防止することを可能にしました。この総合的システムは、今までの既存の防カビ処理のバラバラになっていた対処療法から、根本的な原因療法ととらえる安全で確実性のある防カビ処理として、多年にわたる研究と実践をふまえています。またカビと併せダニの殺虫防止においても室内汚染の根本原因を、より一層排除できる工法として、ビジネス・チャンスは大きく広がるものと確信いたします。

M I S T工法のシステム工程

カビの発生状況の調査

発生しているカビの種類と室内を浮遊落下しているカビによる汚染度を調査。
施工範囲を確定するとともに最適な施工法とその費用をご提案します。

除カビ処理

外壁に付着しているカビの飛散を防ぐための水打ちを行い、特殊除カビ剤による除カビ殺菌。カビの種類や施工場所・素材に合わせて適切な処理をし、徹底的にカビを除去します。

洗浄処理

分離分解したカビ・汚れの洗浄。施工箇所の素材を痛めない様に、低圧洗浄機により洗浄を行います。

カビの防止処理

完全乾燥後、特殊防カビ剤を塗布。施工場所に合わせて適切に用い、カビ防止処理を施します。

定期管理・アフターサービス

お客様のご希望により6ヶ月ごとの定期管理（5年間）アフターサービスを行います。

加盟店開設のご案内

M I S T工法

カビを改善する特殊技術

Mold Improvement Special Technology

開業を希望される場合、下記の要領で開業ができます。

- ・ ビジネスパートナーは現在ビジネスパートナーの無い地域内で開設することができます。
- ・ ビジネスパートナーの活動に関してのテリトリーは開設地域内です。
- ・ ビジネスパートナーに申し込まれた場合は、次項の条件のもとに契約がなされます。

募集要項

技術講習会の受講

株式会社せらが主催するM I S T工法、モールド・インプロブメント・スペシャル・テクノロジーの知識及び技術を習得するための講習です。

MIST グループのビジネスパートナーを創めようとする方は、必ずこの講習会に参加し修了証書を受領し、技術者の認定書を授与されなければなりません。

【M I S T工法による講習内容】基本講習（座学2日間＋実技1日）

- ・ 微生物に関する一般的基礎知識
- ・ カビの種類と生態
- ・ カビの除去防止方法
- ・ 室内汚染の実態と予防方法
- ・ 施工機械工具の取り扱い方法と注意点

【ビジネス編の内容】追加講習（別途有料）

- ・ 営業の仕方、ノウハウ
- ・ 受注時の見積り方法と留意点・注意点
- ・ アフターフォローと定期点検の仕方
- ・ 広告宣伝の方法等